



プレスリリース

メゾン・エ・オブジェ 2009 年 9 月展

世界のインテリア業界にトレンドを発信し、ファッション業界をも巻き込んで発展を続ける「メゾン・エ・オブジェ」2009 年 9 月展が、2009 年 9 月 4 日(金)～8 日(火)の 5 日間、パリノール見本市会場にて開催されます。コンセプトごとに分けられたメゾン・エ・オブジェの 6 つのセクション、および 5 つの小見本市のハイライトをご案内します。



「メゾン・エ・オブジェ」ホーム・ファッションの見本市 ホール 1、2、3、4、5A、6

あらゆるトレンドを網羅した見本市である「メゾン・エ・オブジェ」には、ホーム・ファッションの世界全体が集結します。それぞれの部屋に対応してスタイル、アイテム、アクセサリーのあらゆる期待に応える 6 つのセクターが用意されます。

エスニック・シック・MIC ホール 1

世界中の技術とスタイル・・・

さらにこのセクターではインダストリアル界の名作も展示されます。個性的な作品や厳格な基準を用いてに選定された製品が洗練された異国情緒を醸し出しています。

世界中の零細製造業者と直接結ばれているこのセクターではフェアトレードも注目されています。

テキスタイル ホール 2

メゾン・エ・オブジェにおけるホームリネンのファッションショー

「自然を大切に」テキスタイル部門における季節の合言葉のひとつ

多くのメーカーが有機栽培の綿や麻、最近では竹などの天然繊維を原料とするリネンの製品ラインを選択しています。こ

れは地球環境を守りたいという消費者意識の高まりに応えるものです。このトレンドの一環として、有機栽培のコットンと自然の色彩を採用したアコット・コロンビエ社(Hacot Colombier)の「メゾン・ナチュール」の製品ラインを挙げることができます。タンザニアのザンジバルを拠点とするこの会社は、1996 年以来、天然繊維を原料とするリネンだけを製造しています。日本の高級リネン・メーカーの内野株式会社は、シルクと竹を使った高級タオルを提案します。ガベル・グループ(groupe Gabel)のオルグ社(Org)は、自然に優しい崇高なまでに穏やかな色彩の有機素材を使った生活必需品(タオルとシーツ)を提案します。

テーブルウェア ホール 3

美食の誘惑

テーブルアートは祝宴や共有といった真の文化の流れをくんでいます。食卓の上にはテーブルウェアが並べられ、工夫を凝らして考案された新しい会食の様式が提案されます。それはプロの料理人が使う調理用具とほとんど変わりありません。美食家の「アール・ド・ヴィーヴル」と結びついた次世代の美食家の料理がその質の高さと風味の獨創性を強調しています。これらの料理はその体裁に配慮し構成にこだわることでインスピレーションを与え合うテーブルアートに参加します。

レスパス ホール 4

熟練の技とノウハウに注目

ホール 4 では手仕事による専門技術から生まれた本物の製品が展示されます。クリエイター、職人そしてアーティストたちが、それぞれ自作の一点ものや、限定シリーズや、稀少シリーズの作品を紹介します。この空間はガラス職人や陶芸家、藤細工師や刃物師、寄木職人や高級家具師など、様々な職業の出会いの場でもあります。

コテ・デコ ホール 4 と 5A

コテ・デコは次の 4 つの世界に分かれます。

「レフェランス(References)」スタイルと雰囲気重視したインテリアデザイン ホール 4

「アクチュエル(Actuel)」都会的なトレンドの中で ホール 5A

「シャルム(Charme)」カントリーホーム、ファミリーホーム ホール 5A

「アンスピラシオン・ジャルダン(Inspiration jardin)」拡大する室内への庭の影響 ホール 5A



ホームアクセサリールーム 5Aと6

ホームアクセサリールームは、室内装飾を補完して室内の雰囲気作りに役立つオブジェであり、贈り物に適しています。

新しいセクター

スパ・インテリア&フレグランス:ホームアクセサリールの部門に新しいセクターが誕生しました。メゾン・エ・オブジェでもこうした商品はすでに数年前から展示されていましたが、今回これらのジャンルに新しい枠組みを与え、定義し直しました。トータルな商品アイテムの展示スペースの周囲において、スパ・インテリア&フレグランスは家のなかの布製のアイテム(バスローブ、バスタオル、室内着、クッションなど)、化粧品用品(マッサージオイル、石鹸、クリームなど)、小物家具や照明器具などの選択を通じて、感覚の目覚めを称え、そして助長します。至福のひとつを得るための新しい生活習慣を志向するこの展示スペースは、私たちが快適な生活習慣に向かわせるあらゆる提案を紹介します。

3つの特別セクター

オブジェ・ド・モード(Objet du Mode):室内装飾とモードの世界の間の明確な懸け橋、新しいクリエイティブ製品の醸成の場。

今年はその快適さのために圧倒的な人気を集めているホームウェア(普段着)の延長にある「ラウンジウェア(ゆったりとした室内着)」の流行を支援します。主な出展企業は以下の通り:

ビーナス&ジュール(Venus&Jules)、レ・トゥーリスト(Les Touristes)、シュッド(Sud)、アトリエ・ヴェルティージュ(Atelier Vertiges)、パラディ・ブラン(Paradis Blanc)

ユニヴェール・ド・ランファン(Univers de l'Enfant):斬新な装飾、絶えず刷新される提案、そして革新的な家具が展示されます。モードの世界と玩具の世界も紹介されます。「ボボ(Bobo)」の流行はローレット(Laurette)、オスカー&ヴァランティーヌ(Oscar&Valentine)、ルーム・セブン(Room Seven)、ラルル(Lale)などのブランドとその魅力を分け合っています。

またビンテージものを丁寧に解体して再生させる新たな潮流も見え始めています。ベイカー・メイド・ウイズ・ラブ(Bakker Made With Love)、シド・ラーセン(Sid Larsen)、パーリュディ(Perludi)などが代表的です。

エスプリ・スタジオ:若い人向けの住宅に適した補助家具、照明器具、都会的でカラフルなホームアクセサリールームなど。ホール6

イベントの紹介:

ティエリー・マルクス(Thierry Marx)のカルト・ブランシュ

2009年1月、メゾン・エ・オブジェはオムニヴォール社(Omnivore)と提携して第1回「パリ・デ・シェフ」を開催しました。このイベントは10組のシェフとクリエイター(建築家、造形作家、映画監督、デザイナーなど)の出会いを演出し、それぞれのペアが、コンレンポラリーキューズが私たちの文化や日常に占める位置を浮かび上がらせてくれます。同世代で最もクリエイティブな料理人との評価を得ているティエリー・マルクスが、遊牧民料理にスポットを当てます。世界各地での滞在経験やコラボレーションが彼の人生やクリエイティブな仕事ぶりに多くの影響を与えていますが、今回のテーマは彼にとって何よりもうってつけと言えます。彼の情熱によって2010年にはジロンド県ブランクフォルに料理スクール「キューズヌ・ド・リュウ」の開校が予定されています。

この巡回イベントは5日間の展示期間に合わせて5段階に分けられます。毎日正午から(ジャーナリスト、クリエイター、建築家、メゾン・エ・オブジェ・クラブ会員など)毎回400人に遊牧民料理の試食会に招待いたします。



「インテリア・シーン」 国際的に評価の高いインテリアブランドの見本市 ホール5B

インテリア・シーンは20年以上にわたって高級クリエイション製品の担い手たちを一堂に集めてきました。独占的な展示と最も美しい技術的ノウハウを奨励する精神の支配するこの見本市においては、高級品があらゆる魅力的な輝きを放っています。セノグラフィー(舞台装飾)を任されたのはインテリア・シーンの年間最優秀クリエイターのヴィンセント・ヴァン・ダイゼン(Vincent Van Duysen)です。今年もブースはもっとも魅力的なブランド製品を始め、クリエイターたちの輝かしき野望、創作工芸品の価値を高めるノウハウなどにふさわしい場となります。

見逃せない出展者:

アトリエ・ポリエドゥル(Atelier Polyhedre)、クレール・コルミエ=フォーヴェル(Claire Cormier-Fauvel)、マニトフ(Manitof)、マチュー・ルノルマン(Matthieu Lenorman)、オディオ(Odiot)、ソフィー・ディガール(Sophie Digard)、



リチャール・ジノリ (Richard Ginori)、ガラテオ & フレンズ (Galateo & Friends)、シュヴァリエ = マッソン (Chevalier-Masson)、パオラ・パロネット (Paola Paronetto)

イベントのテーマ:

「タレント・ア・ラ・カルト」

ようこそ、ラテンアメリカの若きクリエイターたち ホール 5B - インテリア・シーン、ホール 5B

ラテンアメリカの創作工芸品と職人技は、その手仕事のノウハウと製品の多様性によって人気を集めています。今回の「インテリア・シーン」にはブラジル、メキシコ、ペルーの3ヶ国から6人の若手クリエイターが招待されます。若手のクリエイターたちが生きる術として代々伝えられてきた伝統に着想を得、さらに新たな解釈を加えてきたこれらの工芸品は、消費者の好みの変化にも対応することができます。

ブラジル:

パウロ・アルヴェス (Paulo Alves): 木製家具 (www.marcenariasao paulo.com.br)

ロドリゴ・アルメイダ (Rodrigo Almeida): 小物家具 (rodrigoalmeidadesign@hotmail.com)

メキシコ:

エル・カミーノ (El Camino): 織物 (ホームページなし)

ホエル・エスカローナ (Joel Escalona): テーブルウェアと小物家具 (www.joelescalona.com)

ペルー:

マリクルース・アルリバス (Maricruz Arribas): ガラスと新素材 (www.maricruzarribas.com)

カテリーネ・ケベド・ガルベス (Katherine Quevedo Galves): 織物 (ホームページなし)



「メゾン・エ・オブジェ・プロジェ」 高級品の選択に影響力を持つ専門家にソリューションを提供する見本市 ホール 5B

メゾン・エ・オブジェ・プロジェ: 世界のインテリアデザイン分野で最先端を行く専門家集団が集結し、インテリアに関する技術的ソリューションを提案いたします。コンクリート、雪花石膏、真珠層などの資材が、技術面・創造面で付加価値の高い革新的ソリューションを用いて処理されます。

もっとも意欲的なこの作業スペースにおいて、伝統的なノウハウ、忘れられていた技術、あるいは革新的な技術に基づく卓越した技法が披露され、展示スペースをフィットネス・ルームに変えたり、本格的なホームスパを組み立てます。メゾン・エ・オブジェ・プロジェの出展者には不可能なことは何もありません。

新規出展者:

技術革新: フレッド & フレッド (Fred & Fred) (www.fred-fred.com),

アンリ・アンテグラトゥール・ドモティック (Henri Intégrateur Domotique) (www.henri.fr)

ノウハウ: コザック (Kozac) (www.kozac.fr), アルダン・メタル (Arden Metal) (www.ardenmetal.fr),

フェリユール・エ・パティヌ (Ferrures et Patines) (www.ferrures.com),

アトリエ・フランソワーズ・カラティニ (Atelier Françoise Caratini),

アトモスフェール・エ・ボワ (Atmosphère et Bois) (www.atmosphere-bois.com)

素材: クラウストラ・リザ・ヴァンノ (Claustra Lisa Vanho), ノーラ (Nora) (www.nora.com/fr)

FNSAI も第6回「モン・ボー・ベトン」コンクールの最終ステージに登場する予定です。あるいは空間デザインにコンクリートを利用する方法を提案する予定です。



アーバニティ & クリエーション、デザイン性を前面に

「ノウ！生活空間を彩るデザイン」ホール 5B



「ノウ！生活空間を彩るデザイン」ではオブジェや家具の新たな創作分野を紹介します。時代の要請に応じて、また素材や工業技術や社会の変化に伴って、デザインはシンプルで快適な生活を実現できる、より良い世界を生み出すものでなければなりません。

今回のセッションで際立つ新機軸：

- ・ マタリ・クラッセ (matali crasset)、アンガ・サンペ (Inga Sempé)、フランソワ・アザンブール (François Azambourg)、ビッグ・ゲーム (Big Game)、アナ・ミール (Ana Mir)、エミリ・パドロス (Emili Padros) などの才能溢れるデザイナーと提携を結び、フランスの新しいエディターであるムスターシュ (Moustache)
- ・ ベンシモン (Bensimon) がデザインした携帯機器コレクションの発表
- ・ コンセプトストア「ホーム・オートウール・デュ・モンド」の 20 年
- ・ イブリッド (Ibride) のプロトタイプに基づく椅子を組み合わせで作ったトテムの新作コレクション
- ・ 数人のブラジル人デザイナーと建築家の提案をエル・デ・オーアンドコー (L de O&CO) が提示

ル・コリアン (le corian) とル・ボワ (le bois) は P-P デザインの家具デザインを担当し、機能と「視覚的快適さ」という 2 つの要求を満たしました。ザ・コレクション (The Collection) は子供用家具のコレクションやチェアおよび事務机コレクションを携えてメゾンエオブジェ展に再登場します。遊具と、ポルトベッコ (Portobello) のブランド名を冠したレベッカ・フェルシー・オート (Rebecca Felcey auto) によるシンプルな遊具の世界も挙げておきます。

最後に、フィリップス社 (Philips) は新たな居住形態を可能にする住宅の世界を再構成します。同社は一般大衆向けの電子機器と小型の家電製品の新製品の販売を契機に、日常の秘密を共有する住宅の輪郭を描きます。



「メゾン・エ・オブジェ・アウトドア・インドア」(9月のみ開催)

アウトドア・インドア「アール・ド・ヴィーヴル」における年に一度の出会いの場 ホール 7

メゾン・エ・オブジェ・アウトドア・インドア展は 3 年連続で世界のアウトドア業界の最新動向を映す代表的な見本市となります。新たな出展企業、斬新なセノグラフィー (舞台装飾)、そして世界中からの選り抜きの製品が展示されることにより、業界トップ見本市の地位を確固たるものにしていきます。

今回のエクステリア家具の展示品には、LTE (www.lte-collection.com) のセレニティ・コレクションに見られる編み加工から、サン & ヴェラ社 (Sun & Vela) の上質の日除け幕の傍らにマチエール・グリーズ社 (Matière grise) の折りたたみ板など、きわめてバラエティに富んだ技術を通して表現されています。

デザイナーたちにとって特権的な表現の場である庭、テラス、バルコニー、そしてそれにつながるスパなどの関連空間に置く家具や小道具類は、もはや専門のデザインエディターだけの領域ではありません。室内のあらゆる快適さが戸外へとほだいに移りつつあります。こうして、ブルーノ・ウーサン・デザイン社 (Bruno Houssin Design) は設備の整ったキッチン of 快適さを屋外で再現するための台所調度品を展示します。

メッツ・テーブル・ツリー (Mezz Table Tree) の展示する家具に自然を組み込んだガーデンテーブルの驚きのコレクションも注目です。アヴナル社 (Avenal) は高齢化に対応して、セラピー効果のある園芸用具や人間工学に基づく感覚とフォルムを融合させた家具などを展示します。

シファ社 (Sifas) のオスカー・シリーズの延長商品のようなデザイン重視の製品がある一方で、より伝統的なデザインの製品も展示されます。

今日、メゾン・エ・オブジェ・アウトドア・インドアは出展企業と協力により新人デザイナーたちにとって格好の育成の場となっています。ジャン＝マリー・マソー (Jean-Marie Massaud)、フィリップ・スタルク (Philippe Starck)、パトリック・ジュアン (Patrick Jouin)、ダーク・ワイナンス (Dirk Wynans)、ウィム・シーガーズ (Wim Segers) やその他の 20 人ほどのデザイナーが次の出展者を通じて出品します。B&B イタリア (B&B Italia)、コロ (Coro)、ドマーニ (Domani)、ドレイド (Draide)、エゴ・パリ (Ego Paris)、エミュ (Emu)、エクストゥタ (Exteta)、エクストレミス (Extremis)、フェルモブ (Fermob)、ケタル (Kettal)、リビング・ディヴァニ (Living Divani)、ミッソーニ (Missoni)、ワン・トゥ・シット (One to Sit)、ロダ (Roda)、シファ (Sifas)、サザーランド (Sutherland)、トリビュ (Tribu)、ヴァラスキン (Varaschin)、ヴィテオ・アウトドアーズ (Viteo > Outdoors)。



メゾン・エ・オブジェ 2009年9月展のトレンド

「リジェネレーション(ReGeneration/再生)」。最新トレンドスペース、ホール1,2,3入口

メゾン・エ・オブジェは、『インスピレーション・ブック No.15』を発行します。そのテーマは「リジェネレーション(再生)」で、これが2010年に向けたトレンドスペースのテーマでもあります。

明日は確実にやってきます。この2000年代最初の10年の最後を飾る年は、前世紀へのノスタルジーの重圧から開放され、変化の兆しがはっきりと見え始めるときです。目の前の未来に直面して人は詩的で多重感覚的な家の中で再生しま

す。華やいだ新たな物語が満足感を用意します。平静さがよみがえり、感覚的快楽はバランスよく調和し、心と体を癒します。人間と美しいオブジェがあるべき場所に収まることを現代性というなら、驚くほど現代的な生活水準の向上と言えるでしょう。

「ボディ・ハウス」フランソワ・ベルナール(François Bernard)

第1ステージ ホール1

家は、生き物のように表面で敏感に呼吸しています。恵みをもたらす有機的形態と自然にやさしい繊細な素材は、必然的に室内空間を美と健全さで満たします。そのボディと生命力が創造力を育む豊かな大地になります。この家に生まれる磁場のような強力な生命力が感動と喜びと希望を与えてくれます。

「歓喜」エリザベス・ルリッシュ(Elizabeth Leriche)

第2ステージ ホール2

健全な軽さが役に立つ時が来ました。重苦しい雰囲気から逃れたくて、人は繊細で儂く、心を落ち着かせるオブジェを欲しがります。徐々に消えゆく半透明のポエジーが、まるで霊気のように新しい世界の輪郭を明るく照らします。爽やかな一陣の風が真新しい白いページをめくります。そして感動的なオブジェが自然と光を昇華させます。新しい時代の始まりの中を吹き抜ける風のように軽やかにそして自由に生きましょ。

「空想力」ヴァンサン・グレゴワール(Vincent Grégoire)(ネリー・ロディ社 Nelly Rodi)

第3ステージ ホール3

新しいエネルギーを探し求めて、時代の空気がより良い世界の構築を探るために未来や科学技術と和解します。私たちは人類に役立つやさしい技術や繊細な素材に対する信頼と希望を取り戻します。調和のとれた世界を生み出すために、テクノポエジーの家庭内の虚構が優しい虹の中で、感覚と感情のエンジニアリングを体験します。

2010年1月展のスケジュール

ムープル・パリ

2010年1月21日(木)~25日(月) 於:パリ・ルブルジェ見本市会場

メゾン・エ・オブジェ、インテリア・シーン、ナウ!生活空間を彩るデザイン、メゾン・エ・オブジェ・プロジェ、メゾン・エ・オブジェ・エディトゥール(1月のみ)、メゾン・エ・オブジェ・ミュゼ(1月のみ)

2010年1月22日(金)~26日(火) 於:パリノール見本市会場

2010年9月展のスケジュール

メゾン・エ・オブジェ、インテリア・シーン、ナウ!生活空間を彩るデザイン、メゾン・エ・オブジェ・プロジェ、メゾン・エ・オブジェ・アウトドア・インドア(9月のみ)

2010年9月3日(金)~7日(火) 於:パリノール見本市会場

日本でのお問合せ先 : フランス見本市協会(Promosalons Japon)

106-0032 東京都港区六本木5-5-1 ロアビル7階

TEL 03-3405-0171

FAX 03-3405-0418

japan@promosalons.com

http://promosalons.cc-town.net

以上